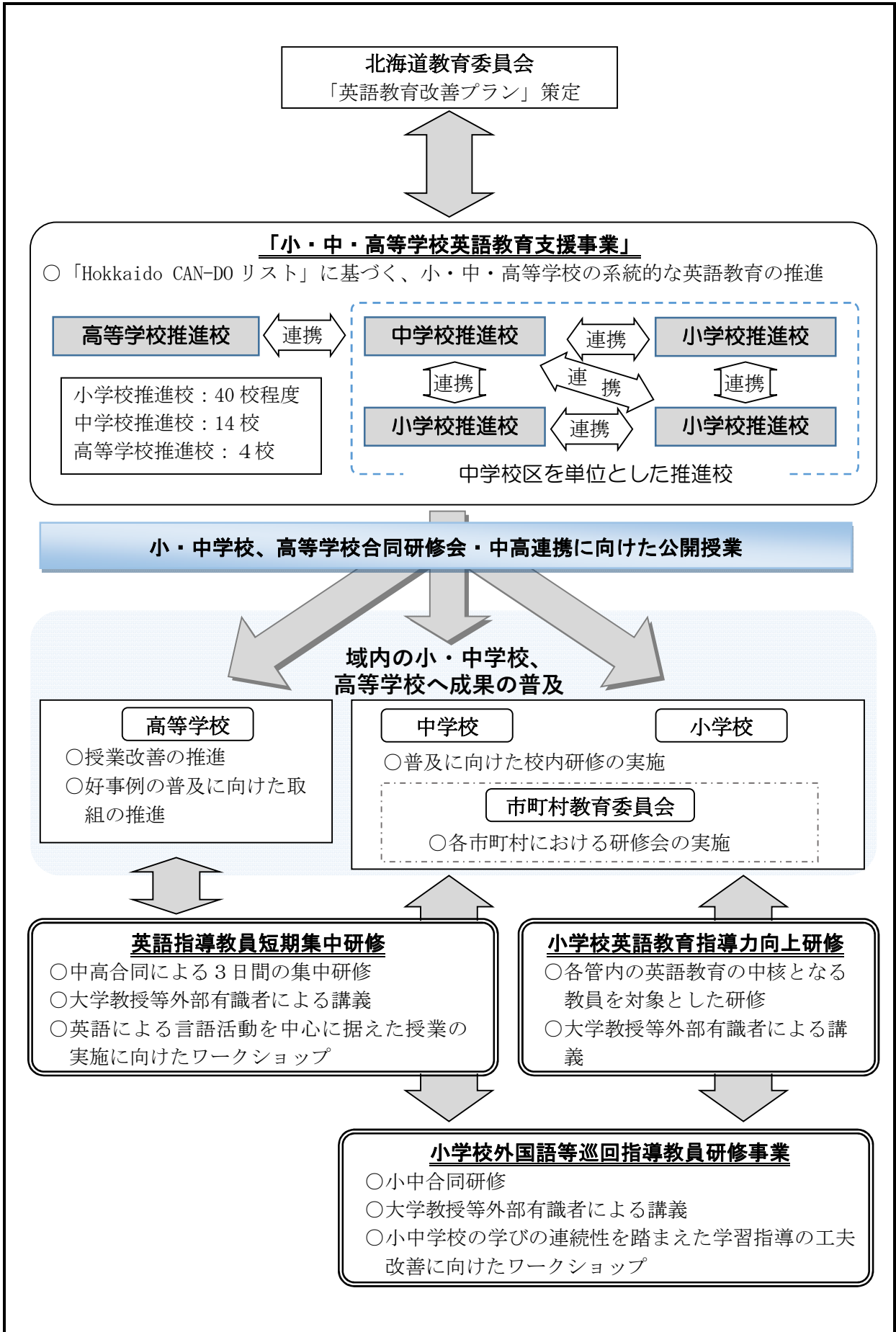


# 北海道英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



**英語指導教員短期集中研修**

- 中高合同による3日間の集中研修
- 大学教授等外部有識者による講義
- 英語による言語活動を中心に据えた授業の実施に向けたワークショップ

**小学校英語教育指導力向上研修**

- 各管内の英語教育の中核となる教員を対象とした研修
- 大学教授等外部有識者による講義

**小学校外国語等巡回指導教員研修事業**

- 小中合同研修
- 大学教授等外部有識者による講義
- 小中学校の学びの連続性を踏まえた学習指導の工夫改善に向けたワークショップ

## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

## □ 「英語教育実施状況調査」等の結果を踏まえた、目標及び数値指標の設定

## ① 求められる英語力を有する英語担当教師の割合

## 〔目標〕

生徒の英語使用を促すことができるよう、生徒の実態を踏まえ、教師が授業中に積極的に英語を使用することができる。

## 〔現状・数値指標〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	36.1%	40%	45%	50%
高等学校	52.0%	75%	75%	75%

## 〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

## ○ 中学校、高等学校

- ・小・中・高等学校英語教育支援事業推進校による取組成果の普及を目的とした「小・中学校、高等学校合同研修会」の実施
- ・大学教授等の外部有識者を講師に招聘し、英語によるコミュニケーション能力の改善充実を図る「英語指導教員短期集中研修」の実施（道立教育研究所と連携）
- ・各種研修会等における資格取得への啓発
- ・外部検定試験の助成制度に関するリーフレット作成、各学校への周知
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図った資格取得の啓発

## ② 求められる英語力を有する生徒の割合

## 〔目標〕

高等学校卒業段階において英語で少なくとも日常的なコミュニケーションができる力を育成することができる。

## 〔現状・数値指標〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	36.6%	40.0%	45.0%	50.0%
高等学校	39.8%	50.0%	50.0%	50.0%

※令和元年（現状）は、速報値

## 〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

## ○ 中学校、高等学校

- ・「Hokkaido CAN-DO リスト」に基づく「CAN-DO リスト」の整備に向けた指導助言
- ・「小・中学校、高等学校合同研修会」等を踏まえた授業改善に向けた指導助言
- ・実際のコミュニケーションで活用することができる言語活動を位置付けた授業改善に向けた指導助言
- ・「話すこと」「書くこと」のパフォーマンステスト等、学習評価の工夫改善に向けた指導助言
- ・ICTを効果的に活用した実践事例の普及啓発

## ○ 中学校

- ・小中連携による系統的な英語教育の実践事例の普及啓発
- ・全国学力・学習状況調査や英検 I B Aの結果分析に基づく授業改善に向けた指導助言
- ・道教委が作成した「パフォーマンステストハンドブック」を活用した実践事例の普及啓発及び指導助言

## ○ 高等学校

- ・各種研修会等における授業改善に向けた指導助言及び好事例の提供
- ・学校教育指導訪問による授業改善に向けた指導助言

## ③「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況の割合

## 〔目標〕

児童生徒が身に付ける能力を各学校が明確にし、教員が児童生徒の指導と評価の改善に活用することができる。

## 〔現状・数値指標（設定）〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
小学校		50.0%	75.0%	100.0%

※中学校、高等学校・・・100%

## 〔現状・数値指標（公表）〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
小学校		30.0%	50.0%	70.0%
中学校	20.2%	40.0%	70.0%	100.0%
高等学校	59.2%	70.0%	90.0%	100.0%

## 〔現状・数値指標（達成状況の把握）〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
小学校		50.0%	75.0%	100.0%
中学校	79.6%	80.0%	90.0%	100.0%
高等学校	71.2%	80.0%	90.0%	100.0%

※令和元年（現状）は、速報値

## 〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

- 小学校、中学校、高等学校
  - ・小・中・高等学校の系統的な「CAN-DO リスト」の整備に向けた指導助言
  - ・「CAN-DO リスト」における学習到達目標の達成状況を把握するためのパフォーマンステストの実施に向けた指導助言
  - ・小・中学校の系統性のある英語教育の実施に向けた「小学校外国語等巡回指導教員研修事業」の実施

## ④生徒の授業における英語による言語活動の割合

## 〔目標〕

目的や場面、状況に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を行うことができる。

## 〔現状・数値指標〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	85.1%	90.0%	95.0%	100.0%
高等学校	70.1%	100.0%	100.0%	100.0%

※令和元年（現状）は、速報値

## 〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

- 中学校、高等学校
  - ・実際のコミュニケーションで活用することができる言語活動を位置付けた授業改善に向けた指導助言
- 中学校
  - ・全国学力・学習状況調査や英検 I B Aの結果分析に基づく授業改善に向けた指導助言
  - ・道教委が作成した「パフォーマンステストハンドブック」を活用し、指導主事による学校教育指導訪問を通じた指導助言
- 高等学校
  - ・各種研修会等における授業改善に向けた指導助言及び好事例の提供
  - ・学校教育指導訪問による授業改善に向けた指導助言

⑤「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

〔目標〕

「英語を用いて何ができるか」という観点に基づき、生徒の英語力を適切に把握することができる。

〔現状・数値指標（スピーキングテスト）〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	4.0回	4.5回	4.8回	5.0回
高等学校	3.3回	4.0回	4.5回	5.0回

〔現状・数値指標（ライティングテスト）〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	2.5回	3.0回	3.5回	4.0回
高等学校	2.0回	3.0回	3.5回	4.0回

※令和元年（現状）は、速報値

※中学校：第3学年、高等学校：外国語科に関する学科以外のコミュニケーション英語Ⅰ

〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

- 中学校、高等学校
  - ・「話すこと」「書くこと」のパフォーマンステスト等、学習評価の工夫改善に向けた指導助言
- 中学校
  - ・道教委が作成した「パフォーマンステストハンドブック」を活用し、指導主事による学校教育指導訪問を通じた指導助言
- 高等学校
  - ・各種研修会等における授業改善に向けた指導助言及び好事例の提供
  - ・学校教育指導訪問による授業改善に向けた指導助言

⑥授業における、英語担当教師の英語使用状況

〔目標〕

生徒の英語使用を促すことができるよう、生徒の実態を踏まえ、教師が授業中に積極的に英語を使用することができる。

〔現状・数値指標〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	79.9%	90.0%	95.0%	100.0%
高等学校	83.1%	85.0%	85.0%	85.0%

※令和元年（現状）は、速報値

〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

- 中学校、高等学校
  - ・小・中・高等学校英語教育支援事業推進校による取組成果の普及を目的とした「小・中学校、高等学校合同研修会」の実施
- 中学校
  - ・全国学力・学習状況調査や英検ⅠＢＡの結果分析に基づく授業改善に向けた指導助言
  - ・道教委が作成した「パフォーマンステストハンドブック」を活用し、指導主事による学校教育指導訪問を通じて、指導助言
- 高等学校
  - ・各種研修会等における授業改善に向けた指導助言及び好事例の提供
  - ・学校教育指導訪問による授業改善に向けた指導助言

## ⑧英語担当教員に対する研修実施回数

## 〔目標〕

英語担当教員の授業の改善・充実が図られるよう、英語力と実践的な指導力の向上を図る。

## 〔現状・数値指標〕

	令和元年（現状）	令和2年（指標）	令和3年（指標）	令和4年（指標）
中学校	60.0回	55.0回	55.0回	55.0回
高等学校	50.0回	45.0回	45.0回	45.0回

※令和元年（現状）は、速報値

## 〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

## ○ 小学校、中学校、高等学校

- ・道立教育研究所で実施する研修講座に加え、今後、英語教育推進リーダーを講師として活用し、教育局・ブロック単位での研修を充実して実施する。

## ⑨新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合

## 〔目標〕

外国語でコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて、より質の高い英語教育を行うことができるよう、小学校における教員の英語力の向上を図る。

## 〔現状・数値指標〕

	令和元年 （指標）	令和2年 （指標）	令和3年 （指標）	令和4年 （指標）	令和5年 （指標）	令和6年 （指標）
小学校	7.0%	15.0%	23.0%	32.0%	41.0%	50.0%

## 〔目標達成に向けた具体的な手立て〕

- 教員採用選考検査において小学校教諭の区分で受検し次の資格等を有するものについて、申請により第2次検査のリスニング検査の免除及び第1次検査の加点を実施する。（予定）

## 【リスニング検査の免除】

- ・中学校又は高等学校英語の教育職員免許状所有者
- ・実用英語技能検定準1級以上の合格者
- ・TOEFL PBT550点（iBT80点）以上取得者
- ・TOEIC 730点以上取得者

## 【第1次検査の加点】

- ・上記リスニング検査の免除に係る資格等を有する者
- ・在外教育施設等や海外の民間企業等で2年以上の英語を使用した勤務経験のある者
- ・海外の大学で2年以上の英語を使用した留学経験のある者
- ・青年海外協力隊の隊員として、2年以上の派遣実績を有する者

## (3) 研修の体系と内容の具体

## □ 小・中学校、高等学校合同研修会

## 〔目的〕

各管内において、中学校の推進校にける公開授業や高等学校の推進校等における実践事例を発表することを通して事業の成果や課題などを共有し、・小中学校、高等学校の系統的な英語教育の指導体制の充実を図る。

## 〔対象〕

各推進校の教員  
各市町村の小学校、中学校教員  
各市町村教育委員会職員

## 〔内容〕

- ・中学校の推進校における公開授業及び研究協議
- ・高等学校等の推進校等における実践事例の発表及び協議
- ・大学教授等の外部有識者による講義

## □ 道立教育研究所と連携した研修会

## ①小学校外国語教育充実研修

## 〔目的〕

異文化理解やコミュニケーション能力の基礎を育成する授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。

## 〔対象〕

小学校教員

## 〔内容〕

- ・異文化理解の推進
- ・これからの小学校外国語教育
- ・授業づくりの進め方と模擬授業

## ②小学校外国語教育に求められる実践的指導力向上研修【中級編・上級編】

## 〔目的〕

五つの領域を扱ったコミュニケーション活動についての理解を深め、英語力と実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。

## 〔対象〕

小学校教員

## 〔内容〕

- ・五つの領域を扱う指導の実際
- ・授業改善の実際
- ・授業づくりの進め方と模擬授業

## ③中学校外国語教育充実研修

## 〔目的〕

国際理解教育やコミュニケーション能力を育成する授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。

## 〔対象〕

中学校教員

## 〔内容〕

- ・国際理解教育の推進
- ・求められる中学校外国語教育
- ・授業づくりの進め方と模擬授業

## ④中学校・高等学校の外国語教育に求められる実践的指導力向上研修

## 〔目的〕

五つの領域を統合する指導についての理解を深め、英語力と実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。

## 〔対象〕

中学校・高等学校教員

## 〔内容〕

- ・五つの領域の総合的な指導と評価
- ・示範授業の参観と協議
- ・授業づくりの進め方と模擬授業

## □ 初任段階教員研修や中堅教諭等資質向上研修における教科別研修

## 〔目的〕

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解を深め、指導力の向上を図る。

## 〔対象〕

小学校・中学校・高等学校教員

## 〔内容〕

- ・新学習指導要領の理念
- ・英語教育における現状と課題
- ・英語教育における授業づくり

## □ 教育課程編成協議会における外国語科及び外国語活動の授業改善に関する研修

## 〔目的〕

各教科等における教育課程の編成等に関する研修を行い、実践的指導力等の向上を図る。

## 〔対象〕

小学校・中学校・高等学校教員

## 〔内容〕

- ・新学習指導要領の理念
- ・カリキュラム・マネジメント
- ・英語教育における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

## □ 英語教育推進リーダー（中央研修参加者）による授業公開等

## 〔目的〕

児童生徒にグローバル化に対応したコミュニケーション能力を育成する指導法を習得させるとともに、英語運用能力の向上を図ることを通して、英語指導力の向上を図る。

## 〔対象〕

小学校・中学校・高等学校教員

## 〔内容〕

- ・児童生徒のコミュニケーション能力の育成
- ・英語を用いた言語活動
- ・児童生徒の英語学習に対するモチベーションの向上



都道府県等 教育委員会名	北海道
-----------------	-----

※表中、斜線部は記入不要。計画段階では目標値のみ記入。

校種	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022		
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
高等学校	①	求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	75.0	52.0	75.0	52.0	75.0		75.0		75.0		
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	50.0	39.4	50.0	39.8	50.0		50.0		50.0		
	③	学習到達目標の整備状況	設定(%)	100.0	98.8	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0	
			公表(%)	100.0	43.5	50.0	59.2	80.0		90.0		100.0	
			達成状況の把握(%)	100.0	68.1	70.0	71.2	80.0		90.0		100.0	
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	100.0	74.9	100.0	70.1	90.0		100.0		100.0		
	⑤	パフォーマンステストの実施状況	○スピーキングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2.8	3.5	3.3	4		4.5		
				コミュニケーション英語Ⅱ	2.5	2.6	2.8	3.4	3		3.5		
				コミュニケーション英語Ⅲ	2.5	1.8	2.8	2.1	3		3.5		
				英語表現Ⅰ	2.5	2.0	2.8	2.2	3		3.5		
				英語表現Ⅱ	2.5	1.9	2.8	1.9	3		3.5		
				英語表現Ⅲ	2.5	1.8	2.8	2.0	3		3.5		
			○ライティングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ	2.5	1.9	2.8	2.1	3		3.5		
				コミュニケーション英語Ⅱ	2.5	1.9	2.8	2.1	3		3.5		
				コミュニケーション英語Ⅲ	2.5	1.9	2.8	2.1	3		3.5		
				英語表現Ⅰ	2.5	2.4	2.8	2.9	3		3.5		
				英語表現Ⅱ	2.5	3.3	3.5	3.9	3.5		3.5		
				英語表現Ⅲ									
	⑥	○スピーキングテスト(回)	英語コミュニケーションⅠ										5
			英語コミュニケーションⅡ										4
英語コミュニケーションⅢ												4	
論理・表現Ⅰ												4	
論理・表現Ⅱ												4	
論理・表現Ⅲ												4	
○ライティングテスト(回)			英語コミュニケーションⅠ										4
			英語コミュニケーションⅡ										4
			英語コミュニケーションⅢ										4
			論理・表現Ⅰ										4
			論理・表現Ⅱ										4
			論理・表現Ⅲ										4
⑦	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	85.0	80.7	85.0	83.1	85.0		85.0		85.0			
⑧	英語担当教員に対する研修実施回数	50.0	50.0	50.0	50.0	45.0		45.0		45.0			
	研修受講者数	1100	1112	1100	913	990		990		990			

校種	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022		
			目標値	達成値(現状)	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
中学校	①	求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	35.0	36.2	40.0	36.1	40.0		45.0		50.0		
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	35.0	30.0	40.0	36.6	40.0		45.0		50.0		
	③	学習到達目標の整備状況	設定(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0	
			公表(%)	30.0	14.9	50.0	20.2	40.0		70.0		100.0	
			達成状況の把握(%)	70.0	77.4	80.0	79.6	80.0		90.0		100.0	
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	80.0	84.2	85.0	85.1	90.0		95.0		100.0		
	⑤	パフォーマンステストの実施状況	スピーキングテスト(回)	4.0	3.7	4.2	4.0	4.5		4.8		5.0	
			ライティングテスト(回)	2.0	2.1	2.2	2.5	3.0		3.5		4.0	
⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	80.0	80.8	85.0	79.9	90.0		95.0		100.0			
⑧	英語担当教員に対する研修実施回数	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0		55.0		55.0			
	研修受講者数	950	944	950	936	870		870		870			

校種	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
			目標値	達成値(現状)	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	①	学習到達目標の整備状況	設定(%)				50.0		75.0		100.0	
			公表(%)				30.0		50.0		70.0	
			達成状況の把握(%)				50.0		75.0		100.0	
②	小学校教員に対する研修実施回数	68	68	68	68	65		65		65		
③	研修受講者数	1450	1477	1450	1407	1400		1400		1400		

独自	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値

※第3期教育振興基本計画に基づき、2022年度までの目標管理としている。なお、小学校専科指導に係る新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合については、平成30年12月27日付け「質の高い小学校英語教育を推進するための小学校英語専科指導に係る加配定数の取扱について」を受けて、2025年度まで記入欄を設けている。